

※ 1行 30文字の設定

ページレイアウト → 余白 → ユーザー設定の余白 → 文字数と行数  
 → 文字数と行数を指定する → 文字数を30に変更 → OK

①

H先生は駅伝やマラソンを趣味にして、走ったり、観戦したりしている。毎年1月2日・3日に実施されている箱根駅伝をいつも楽しみに待っている。各学校の実力は僅差であり、どこの大学が優勝してもおかしくない。箱根駅伝で走れる人は、各校10人。19大学と関西連合チームの20校しか参加できない。箱根駅伝の予選会というものもある。関東陸上連盟に加盟している大学で、11月に予選会を実施し、上位9校までが参加できる。前年度上位10位以内に入賞すると、次年度の参加資格が与えられるシード権がある。青山学院大学、東洋大学、東海大学等は選手層も厚く、シード校として活躍している。

かつての山の神様である東洋大学の柏原選手、青山学院大学の上地選手等は有名である。

(313文字)

②

H先生は中学校・高校の6年間、水泳部で自由形の選手であった。100m自由形の記録は1分08秒なので、50秒を切る日本記録を考えると、大した記録ではない。200m、400m、800m、1500m自由形もある。かつて西宮市民大会で1500m自由形に参加した。記録は確か、24分30秒で、第2位であった。長い距離を泳ぐことはあまり好きではなかったが、先輩に誘われて参加した。25mプールで泳ぐと30往復。泳ぐうちに何回ターンしたか、あやふやになる。鐘の音で、最終往復であることを確信して、最後の泳ぎに力を注いでフィニッシュした。この時の体中の倦怠感は一瞬ではない。当時としては、力尽きた自己との最善の戦いであったと思う。しかし、20年後には愛媛マラソン初出場初完走した筋肉痛がトップに君臨した。

(316文字)

記録表

月日						
番号	①	②				
文字数						
時間	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒

